

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	公共施設修繕計画推進事業	所管	道路公園部 営繕課
			TEL 2998-9176

事業の目的 (何の為に 行うか)	修繕計画によって、長期的な修繕費を展望し、建物の修繕を計画的に進行管理することにより、単年度に修繕が集中する事態を避けて財政負担を軽減するとともに建築物の延命化を図り、既存建築物を有効活用していく。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	修繕計画に基づく工事予定件数	対象とした数	67	件
		実際に 利用した数	33	件

活動の内容	(何を したか)	①修繕計画の進捗状況、及び各施設の改修・耐震工事等の計画と整合を図り、修繕計画の見直しを実施して調整したものを作成する。 ②修繕計画に基づく次年度工事の予算金額の見積を行う。 ③修繕計画の進捗状況を報告する。 ④各施設で実施した工事・修繕経歴(データ)を修繕計画策定システムに入力する。								
活動実績	項目名	修繕計画に基づく 工事予定件数	67	項目名	修繕計画に基づく 工事実施件数	33	項目名		単位	件
			----- 単位			----- 単位				件

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	2,143	2,106	29,349	86.6

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明(計算方法等)	目標値	実績	達成率
	修繕計画に基づく 工事実施件数	目標値: 修繕計画工事予定件数 実績: 修繕計画に基づく 工事実施件数	67	33	49.3
			----- 単位	----- 単位	----- 単位
			件	件	%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []								
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止								
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了								

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了									
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了								
	予算	現状どおり 増額 減額 終了								

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	070600	TEL	2998-9176
事業コード	公共施設修繕計画推進事業	担当	道路公園部 営繕課			
070601		グループ	修繕計画			
開始年度		平成 18 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令				
	分野別計画・指針								
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第8章 計画の推進に向け	施策	3節 行政運営	中柱	1 行政経営の推進	小柱	(1)計画行政の推進
・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 35 位 ・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○ 行政改革大綱における行動計画への位置づけ コード 3221 公共工事のコスト構造改革									
事業開始の背景		既存の公共建築物は、老朽化が進み、10年後には建築物の約65%が建築年数30年を経過する。そこで、建築物の劣化が進行する前の予防保全に取り組むために「所沢市公共建築物修繕計画」が策定された。この修繕計画をガイドラインとして市の上位計画である総合計画をはじめ、各分野における施設整備計画との整合性を図りながら修繕計画を推進していく							

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)												
	修繕計画によって、長期的な修繕費を展望し、建物の修繕を計画的に進行管理することにより、単年度に修繕が集中する事態を避けて財政負担を軽減するとともに建築物の延命化を図り、既存建築物を有効活用していく。												
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方							
	修繕計画に基づく工事予定件数					修繕計画に基づく工事実施件数							
対象数		単位		平成 18 年度	0	件	利用数		単位		平成 18 年度	0	件
				平成 19 年度	67	件					平成 19 年度	33	件
事業の具体的な内容及び実施方法													
①修繕計画の進捗状況、及び各施設の改修・耐震工事等の計画と整合を図り、修繕計画の見直しを実施して調整したものを作成する。 ②修繕計画に基づく次年度工事の予算金額の見積を行う。 ③修繕計画の進捗状況を報告する。 ④各施設で実施した工事・修繕経歴(データ)を修繕計画策定システムに入力する。													

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
	平成19年度中に改善した点									
平成19年度に実施する修繕計画による工事と平成20年度から実施予定の所沢市学校施設耐震化推進計画と整合をはかり、平成20年度の修繕計画の見直しを実施した。										

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		2,143	2,143	2,205
	決 算 (見込み含む)		2,105	2,106	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(2.90 人) (人)		
	正規職員人件費	3.60 人	33,120	2.90 人	27,243
	公債費				
	事業費合計		35,225	29,349	
	財源内訳	一般財源	35,225	29,349	2,205
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)			104.3	86.6	
利用数一単位あたり(単位:円)		#DIV/0!		889,351.5	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	修繕計画に基づく工事予定件数	件	0	67	65	
		修繕計画に基づく工事実施件数	件	0	33	36	
			件				
成果分析	修繕計画に基づく工事実施件数	目標値:修繕計画工事予定件数	件	0	67	65	
		実績:修繕計画に基づく工事実施件数	件	0	33		実績値の拡大を図る1
		% 達成率	****		49.3		実績値の縮小を図る2 1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市(公共施設の所管課)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題		平成19年度の修繕計画に基づく工事の実施状況は計画の約50%で、計画に遅れが生じているので平成20年度以降の修繕計画に大幅に調整が必要となっている。			
⑧二次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	平成20年度修繕計画の進捗状況を把握して、平成21年度の修繕計画を作成する。		平成21年度の修繕計画工事予定の予算見積りを完了する。	9月末まで
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由					
学校耐震工事の優先、厳しい財政事情等で平成19・20年度の進捗状況は、計画された工事の約50%となっている。しかし、将来の財政負担の軽減を図るとともに、安全・安心な建物を提供するためにも、施設の延命化を図り、既存の建築物を有効に活用していく予防保全的な修繕計画の実施が必要である。					
評価日		平成20年5月23日			
記入者職氏名		営繕課 主幹 北田賢司			

⑨評価	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	評価日				
次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
評価理由	評価日					

⑩個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	◎個別計画				
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	基本目標				
主要課題					
施策の方向					